

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三井不動産レジスタンスパーク厚木	階数	地上5F
建設地	愛甲郡愛川町中津字桜台4021番1地4筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	240人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年3月4日
敷地面積	20,511 m <sup>2</sup>	作成者	JFEシビル株
建築面積	9,230 m <sup>2</sup>	確認日	2014年3月10日
延床面積	43,054 m <sup>2</sup>	確認者	JFEシビル株



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	建物本体と受け入れ荷重の安全性が高く、柱スパンと階高さを十分に確保して倉庫としての基本性能を高次元で実現している。屋根面には太陽光パネルを全面に設けて屋根からの入熱を抑えると共にCO <sub>2</sub> 削減に貢献している。	その他 0
<b>Q1 室内環境</b>	庫内環境は、十分な換気量を確保すると共にLED照明により照度200lxとして十分な明るさを確保した。荷物に対しては紫外線による劣化を考慮して窓を設けない計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺の景観に配慮した計画とした。既存樹木の保存を行うと共に新たな植栽を行っている。
<b>LR1 エネルギー</b>	屋根面に太陽光パネルを全面に渡り設置して熱負荷低減及びCO <sub>2</sub> 削減に配慮した。全熱交換器を採用し空調負荷の低減を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・太陽光発電(全量売電)によりCO <sub>2</sub> を削減した。 ・敷地外周にはグリーンベルトを設けて緑化を図った。
<b>Q2 サービス性能</b>	棚配置及び通路を考慮した柱スパン、荷の高さに応じた階高さ、荷の重さに対応した積載加重(1.5 t/m <sup>2</sup> )を確保している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	水資源：衛生器具は節水型を採用。 再生材：路盤材料に再生クラッシュランを採用。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質)、**L:** Load (建築物の環境負荷)、**LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、**BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される